

1. 本県周辺海域の概況(図1, 3/5現在)

- ・黒潮の流型は、直進型のN型で推移しています。本県沖での黒潮本流は、2月下旬まで本県海域沖合を蛇行する流路で通過していましたが、現在は犬吠埼沖合を東方に流去しています。
- ・本県沿岸には黒潮本流から暖水が波及しています。また、北上した暖水は金華山沖付近まで達しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯38° 東経143° 付近(宮城県沖合)にあります。親潮の面積は平年よりも大きめです。

2. 海洋観測結果(2/26~3/1:調査船「ときわ」)

- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2~9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10~13に、会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図14~17に示しました。表面水温は、会瀬沖で12.6~17.2℃, 大洗沖で11.4~16.6℃, 鹿島沖で13.7~16.0℃, 犬吠埼沖で14.0~17.7℃でした(図2)。
- ・前月と比べると、南部海域の一部を除いた広い海域で降温(-3~-1℃)しました(図6~7, 図14~15)。
- ・平年と比べると、黒潮本流からの暖水波及が続いたため、本県海域の広い範囲(極沿岸~沖合)の表層・下層で「高め基調」となりました(図8~9, 図16~17)。今年1月以降、本県海域では高め基調の水温環境が継続しています。
- ・潮流の特徴として、前月と同様に比較的強い(1ノット以上)真潮(北向きの潮流)および込潮(沿岸方向への潮流)が会瀬および大洗定線で観測されましたが、逆潮(南向きの潮流)はほとんど観測されませんでした。

3. 今後の1カ月の見通し

- ・黒潮流型は直進型のN型で推移し、黒潮本流は犬吠埼沖合を東方~東北東に流去する状況が続くでしょう。
- ・親潮の面積は大きめで推移し、親潮第一分枝の先端は北緯37° 30' 東経143° 付近(福島県沖合)まで南下するとみられますが、常磐北部~鹿島灘の沿岸では暖水波及の影響が強く、真潮の潮流が卓越していることから、本県沿岸に親潮第一分枝が差し込みにくい状況が続くでしょう。
- ・水温を平年と比べると、全域で「高め基調」で推移するでしょう。

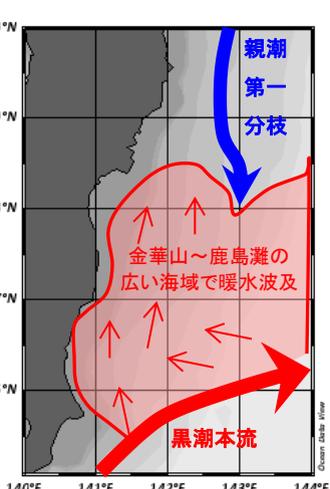


図1 海況の概要 (3月5日現在)

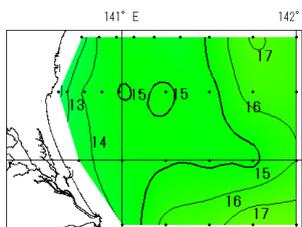


図2 海面水温(°C)

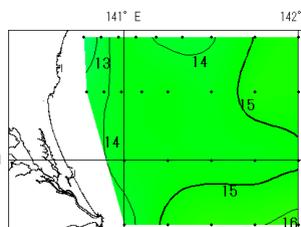


図3 50m深水温(°C)

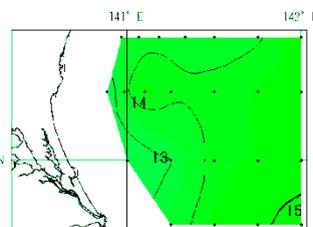


図4 100m深水温(°C)

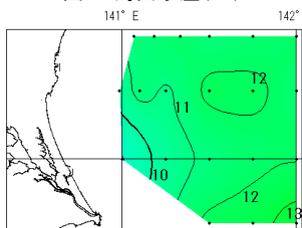


図5 200m深水温(°C)

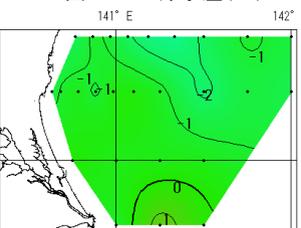


図6 海面水温前月差(°C)

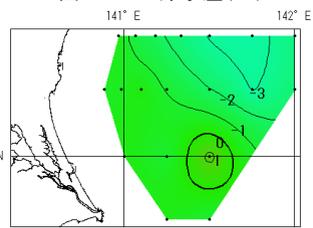


図7 100m深水温前月差(°C)

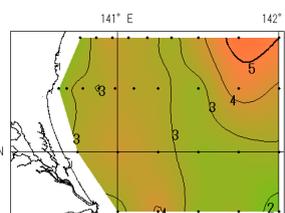


図8 海面水温偏差(°C)

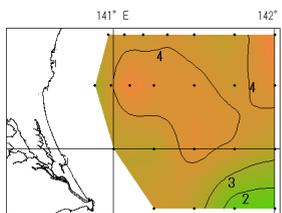


図9 100m深水温偏差(°C)

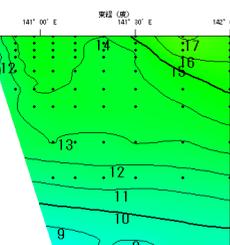


図10 会瀬沖鉛直水温(°C)

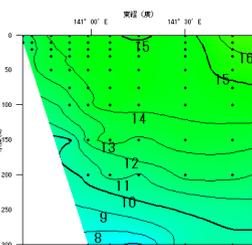


図11 大洗沖鉛直水温(°C)

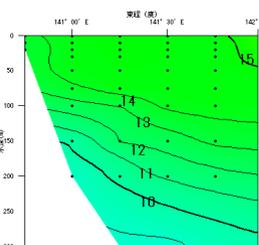


図12 鹿島沖鉛直水温(°C)

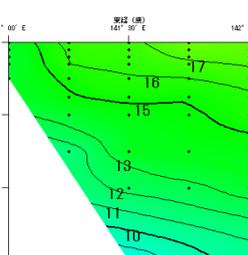


図13 犬吠埼沖鉛直水温(°C)

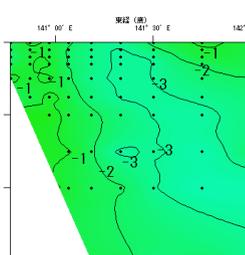


図14 会瀬沖鉛直水温前月差(°C)

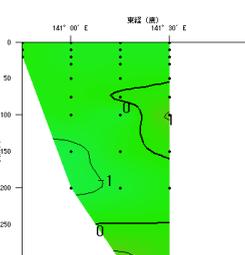


図15 鹿島沖鉛直水温前月差(°C)

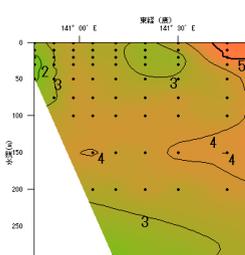


図16 会瀬沖鉛直水温偏差(°C)

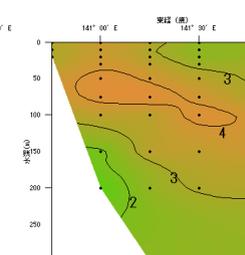


図17 鹿島沖鉛直水温偏差(°C)